

関係者各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部長 宮部周作
競技運営・審判委員会委員長 中島典子

競技用キャップの新しい運用とベストの運用について

「JLA ライフセービング競技規則<2020 年版> (2020.06.04 版)」並びに「競技用キャップに関する規程」の公開に伴い、以下の 2 点について運用方法に変更がありますので、お知らせいたします。

1. 競技用キャップの取り扱い及び登録方法などについて

「キャップ登録に関する規程 (2018 年 3 月 15 日改正 : NPO-JLA 発行)」は取り下げられ、新しく「競技用キャップに関する規程 (2020 年 6 月 6 日施行 : 公財-JLA 発行)」が公開された。これには、競技用キャップに関する 6 つの規定 (登録手順、審査、免責事項、など) が掲載されている。

ライフセービング競技規則に従い、競技者及びチームの識別やジャッジをアシストするために、全ての競技者はキャップ及び/又はヘルメットを着用すること、そして同一チームの全競技者は同一のデザインのキャップ及び/又はヘルメットを着用することが義務付けられている。この原則は従来から変更はないが、新しい規程の運用に伴い大きな変更点として次の 2 点が挙げられる。

➤ プール競技用キャップの登録制度廃止

プール競技において、各競技者又は各チームが競技を行う際、レーンロープにて確実に仕切られている為、競技者及びチームの識別は比較的容易である (もし、自身が割り当てられたレーン以外で競技を行った場合は失格となる)。また、昨今において市販品のシリコン又はメッシュ等の素材によるスイムキャップを用いるチームが増え、異なる団体であっても、同デザイン又は同色によるデザインの混同があっても登録を認めていた経緯から、プール競技用キャップの登録制度自体を廃止した。よって、プール競技において使用するキャップは任意とする。但し、ライフセービング競技規則に従い、出場するチーム全員が同一デザインのキャップを用いること。マネキン・ハンドラーも同様である為、競技者本人とマネキン・ハンドラーも、必ず同一デザインのキャップを着用すること。

なお、従来通りオーシャン競技用キャップ (所謂、あご紐付きのキャップ) をプール競技において使用することは引き続き可能である。

➤ 登録管理番号について

オーシャン競技用キャップについて、今後キャップ登録が完了した際に、「登録管理番号」を発行する。この登録管理番号を各種競技会のエントリーにおいて申告すること。登録管理番号が未発行又は未記入のままエントリーを行った場合、エントリー受付ができない場合がある。

特に新規団体の場合は、必ずキャップ登録を完了してから（すなわち、登録管理番号が発行された状態）、エントリー手続きを行うこと。

なお、既に登録済みのオーシャン競技用キャップがある団体については、登録管理番号を本協会競技運営・審判委員会より発行及び通知を行う。各団体から改めて登録手順を踏む必要はない。登録管理番号の通知は、LIFESAVERS を介して各団体の代表者宛に 2020 年 8 月 20 日 (木)までに通達する。

2. ベスト（ラッシュベスト）の取り扱いについて

オーシャン競技におけるベスト（ラッシュベスト）の着用や取り扱いについて、「ライフセービング競技規則<2020年版>2.10.2.ベスト（Vests）」及びその脚注に掲載されているため、その規則に従うこと。

ベストの製造及び／又は販売の自由化を図る為、製造者向けのベストの規程（ルール）を準備中である。ベストに関する新しい規程公表までは、「ラッシュベストに関する規程（2018年3月15日改正、NPO-JLA発行）」を継続して適用する。

以上

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部
info@jla.or.jp

<付録：競技用キャップ及びベストに関する Q&A>

Q1.今まで登録していたプール競技用キャップは、プール競技において使用可能か？

A1.使用可能である。また、登録取下げなどの手続きは不要である。

Q2.今まで登録していたプール競技用キャップからデザインの修正/変更をする場合は、再申請及び再登録は必要か？

A2.不要である。但し、オーシャン競技用キャップをプール競技においても使用（併用）している場合において、そのデザインの修正/変更をしたい場合、プール競技会においては不要であるが、出場するオーシャン競技会のエントリー締切日までに再登録を完了すること。

Q3.全く登録をしていないキャップ（市販品又はオリジナルで製作したキャップ）を、プール競技会当日に持参して出場してよいか？

A3.出場可能である。競技会主催者へ事前申請や代表者会議等での持参も不要とする。但し、必ず出場する同一チームの全競技者（マネキン・ハンドラー含む）が、同一デザインのキャップを使用すること。

Q4.登録済みのオーシャン競技用キャップと、全く同じデザインのシリコン又はメッシュのキャップを製作した。この場合、双方のキャップを混在してプール競技にて使用することは可能か？

A4.可能である。同一デザインである場合に限り、あご紐の有る・無しに依らず、混在しての使用は問題ない。

Q5.登録済みのオーシャン競技用キャップと、全く同じデザインのシリコン又はメッシュのキャップを製作した。この場合、双方のキャップを混在してオーシャン競技にて使用することは可能か？

A5.不可である。この混在使用は、プール競技及び SERC のみ適用される。

Q6.用意したキャップの数が足りない為、急きょキャップを買い足した。事前に用意したキャップとデザインが異なるが、登録が不要であるためこれでプール競技会に出場してよいか？

A6.不可である。必ず出場する同一チームの全競技者が同一デザインのキャップを使用すること（急きょ買い足したキャップが、あらかじめ用意しておいたキャップと同じデザインであれば問題ない）。

Q7.プール競技会において、出場する競技者及びチームは全員同一デザインのキャップを使用するが、キャップの数が足りない為、マネキン・ハンドラーのみ登録済みのオーシャン競技用キャップ（プール競技用に用意したキャップとデザインが異なるもの）を使用してもよいか？

A7.不可である。マネキン・ハンドラーも「出場する同一チームの全競技者」が原則となるため、必ず担当する競技者と同一デザインのキャップを着用すること（もし「Q4.」と同じ状況ならば、オーシャン競技用キャップとの混在使用は可能である）。

Q8.ベスト（ラッシュベスト）は任意の物を使用してよいか？

A8.不可である。ライフセービング競技規則内、【JLA 脚注 9】の「本協会標章が取り付けられ、且つ本協会が認めたものであること。」に従うこと。なお、ベストの製造及び／又は販売の自由化を図る為、製造者向けのベストの規程（ルール）を準備中である。

Q9.過去の競技会で配布されたベスト（ラッシュベスト）は、どの競技会でも着用してよいか？

A9.JLA 主催競技会においては協賛社やメディア露出の観点から、使用不可とする。JLA 認定競技会においては、当該競技会の主催者の判断によるものとする。

Q10.新しい規程等の運用はいつからか？それに伴って競技者側が準備する物は何があるのか？

A10.規程の公開と同時に運用を開始する。既に登録済みのオーシャン競技用キャップ又は製造済みのベスト（ラッシュベスト）がある場合は、手続き等は一切不要である（但し、キャップのデザインを修正／変更した場合は再申請及び再登録が必要となる）。新規団体の場合は、オーシャン競技会出場の場合は、キャップの登録及びベスト（ラッシュベスト）の手配を進めること。プール競技会においては、出場する当該プール競技会当日までに、同一デザインのキャップを各団体において出場する競技人数分用意しておくこと。



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会